

# ヒロシマ・ナガサキを語り受け継ぐ 被爆者のお話と茶話会



2017年10月プラザ浦和で  
開催した茶話会の様子です。

**1945年8月6日、9歳のときに吉島町（爆心地から1.6 km）で被爆した女性からお話を聞きます。**

8月6日はよく晴れていた。兄は中島小学校へ、私は家からより近い鶴の湯の分校と一緒に登校した。分校について荷物をかごに入れて、女の子5～6人でお風呂屋さんの前の路地で石けりをはじめた。男子たちは浴槽の方で遊びまわっていた。

石けりをはじめたときに突然ピカッとするとい光を感じた。気がついたら真っ暗闇。しばらくしたら周囲が夕暮れ時のような明るさになってきた。その明るさの中で私はひとりお座りをしていた。お友だちは一人もいない。周囲の建物がみんな潰れていた。私の身体は頭と足のくるぶしに大きなコブができていた。何が起こったんだろう？とそのまま座り込んでいた。

（2013年5月の証言から）

被爆者の平均年齢は80歳を超えました。一方通行の講演にならないように、後半はお話を聞いて心に残ったこと、考えたことなどを交茶話会という形で交流します。そのため定員も少なめに設定しています。どなたでも参加いただけます。お気軽にご参加ください。

日時：2018年3月25日（日）午後1時半～15時半

場所：コーププラザ浦和 4F会議室

埼玉県さいたま市南区南本町2-10-10 JR浦和駅下車

参加費：300円 定員10名

（定員になり次第締め切りとさせていただきます）

参加申込：件名を「被爆者のお話と茶話会 参加希望」として、  
お名前、連絡先を明記の上、

E-mail: [hironaga8689@gmail.com](mailto:hironaga8689@gmail.com) まで

企画・運営：「未来につなぐ被爆の記憶」データ化プロジェクト